

エポエチンベータペゴル（CERA）隔週投与による鉄代謝改善効果

長崎腎病院

○林田征俊 高木伴幸 船越哲 宮崎健一 李嘉明 橋口純一郎 原田孝司

【目的】

縦断研究にて、血液透析 (HD) 患者の CERA 投与間隔を 4 週に 1 回から隔週とし、鉄代謝の検討を行う。

【対象・方法】

CERA を月 1 回で投与中の外来 HD 患者 158 名のうち、CERA の月間投与量および他の治療因子を変更しなかった 32 名について、2012 年 10 月より月 2 回半量投与とし、鉄代謝因子を追跡した。

【結果】

CERA の 4 週に 1 回投与から隔週投与変更の結果、Hb は不変のまま CERA を減量可能であった。変更後、血清鉄は $62 \pm 23.2 \text{ mg/dL}$ から $52 \pm 21.4 \text{ mg/dL}$ へ、フェリチンは $165.7 \pm 164.2 \text{ ng/dL}$ から $77.7 \pm 117.2 \text{ ng/dL}$ へ有意に低下した。また、TIBC は $215 \pm 50.2 \mu\text{g/dL}$ から $235 \pm 58.9 \mu\text{g/dL}$ と有意な変化はなかった。

【考案】

フェリチンの低下及び TSAT の維持もできたことから、CERA の臨床的投与間隔は隔週が適切であり、また有効な鉄利用に貢献していると思われる。